

# 変わる 地球の気候

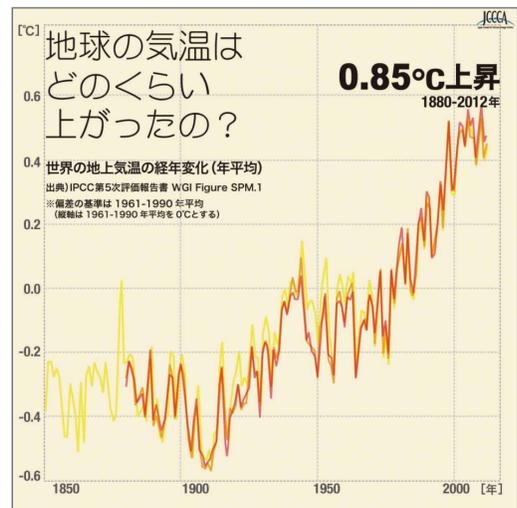


知っていますか？ いま、地球で起きていること！

## [気温の上昇] 観測結果

# 0.85°C

1880年から2012年までの間に、  
世界の平均気温は0.85°C上昇。

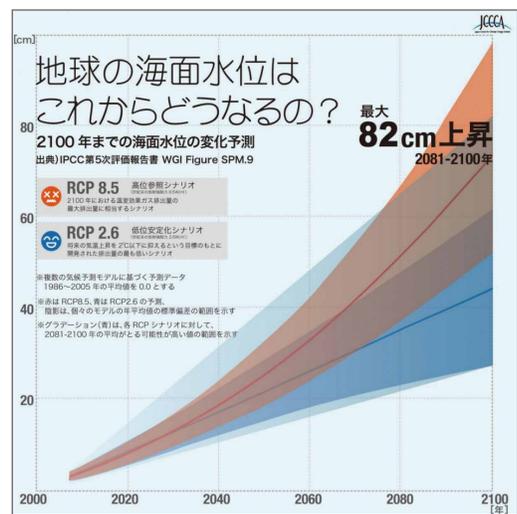


1

## [海面水位の上昇] 観測結果

# 19cm

1901年~2010年の間に、  
世界の平均海面水位は19cm上昇。



2

IPCC報告書で、詳細を確認しましょう!

<写真出展・提供者等>

1・2：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト  
(<http://www.jccca.org/>) より

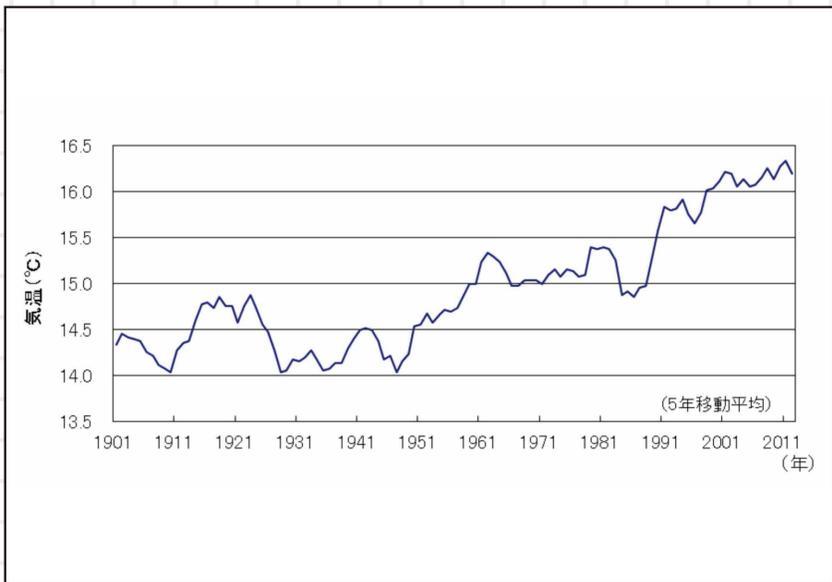


# 変わる 横浜の気候

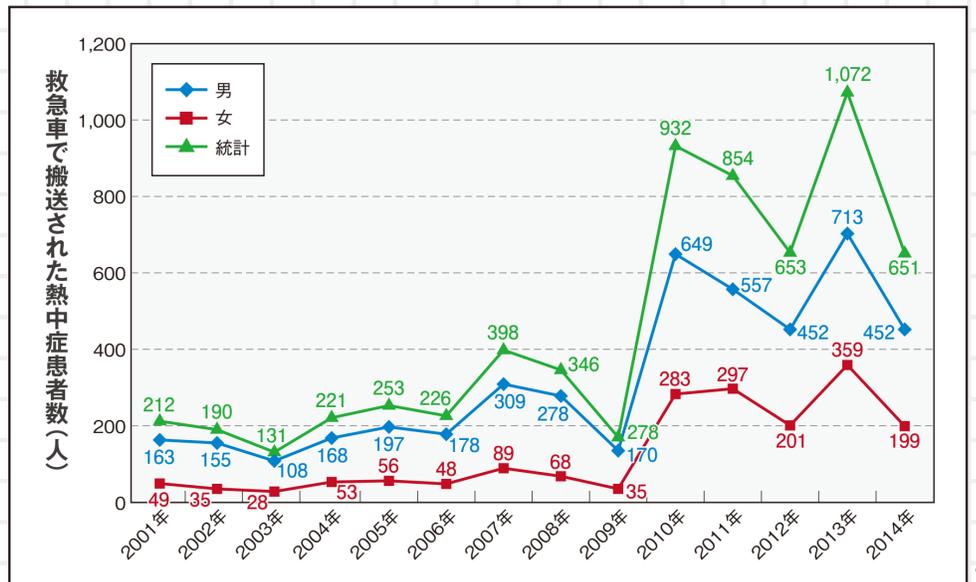


## 始まっている、温暖化の影響!

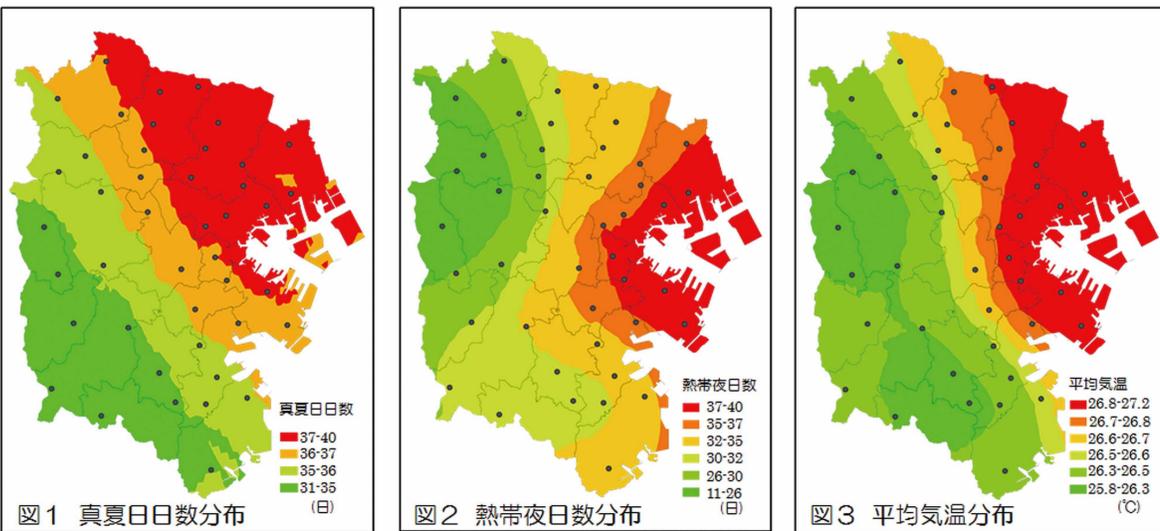
横浜市の年平均気温 (横浜地方気象台提供資料)



2001-2014年の横浜市における熱中症患者数推移



□ 2015年 気温観測結果分布図



- 横浜市内の平均気温は、100年間で2.7°C上昇 (日本の平均は100年で、1.14°C上昇)
- 熱帯夜の日数は徐々に増加
- 豪雨などによる被害が頻発

〈写真出展・提供者等〉

- 1: 横浜地方気象台公表データ (年平均気温)
- 2: 横浜市消防局データにより作成
- 3: 環境科学研究所



# 気候変動と崩れる関係



1

## 私たちの身近で、「変化」は起こっています!

キリバス共和国 首都タラワ島  
2015年2月20日 大潮



2



2006年10月 台風による浸水被害(横浜駅西口付近)

3



2014年10月  
台風18号による浸水被害(泉区岡津町)

4



7

<p><b>1</b> 海面上昇 高潮 <small>(沿岸、島しょ)</small></p>	<p><b>2</b> 洪水 豪雨 <small>(大都市)</small></p>	<p><b>3</b> インフラ 機能停止 <small>(電気供給、医療などのサービス)</small></p>
<p><b>4</b> 熱中症 <small>(死亡、健康被害)</small></p>	<p>将来の 主要なリスク とは? 複数の分野地域におよぶ 主要リスク 出典) IPCC第5次評価報告書 WGII</p>	<p><b>5</b> 食糧不足 <small>(食糧安全保障)</small></p>
<p><b>6</b> 水不足 <small>(飲料水、灌漑用水の不足)</small></p>	<p><b>7</b> 海洋生態系 損失 <small>(漁業への打撃)</small></p>	<p><b>8</b> 陸上生態系 損失 <small>(陸域及び内水の生態系損失)</small></p>

5



6



8



9

10月下旬、夏の花「あさがお」が咲く

〈写真出展・提供者等〉

- 1: NPO法人 鶴見川流域ネットワーク
- 2: 撮影: フェリス女学院大学 佐藤 輝 氏
- 3: 横浜市・個人撮影
- 4: 横浜市・個人撮影
- 5: 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より
- 6: 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー (撮影: 吉岡 達哉 氏)
- 7: 環境省
- 8: 国立極地研究所
- 9: 横浜市・個人撮影

たくさんの図書、資料で、環境のこと、  
もっと考えてみよう!



# 横浜市の、 チャレンジと思い



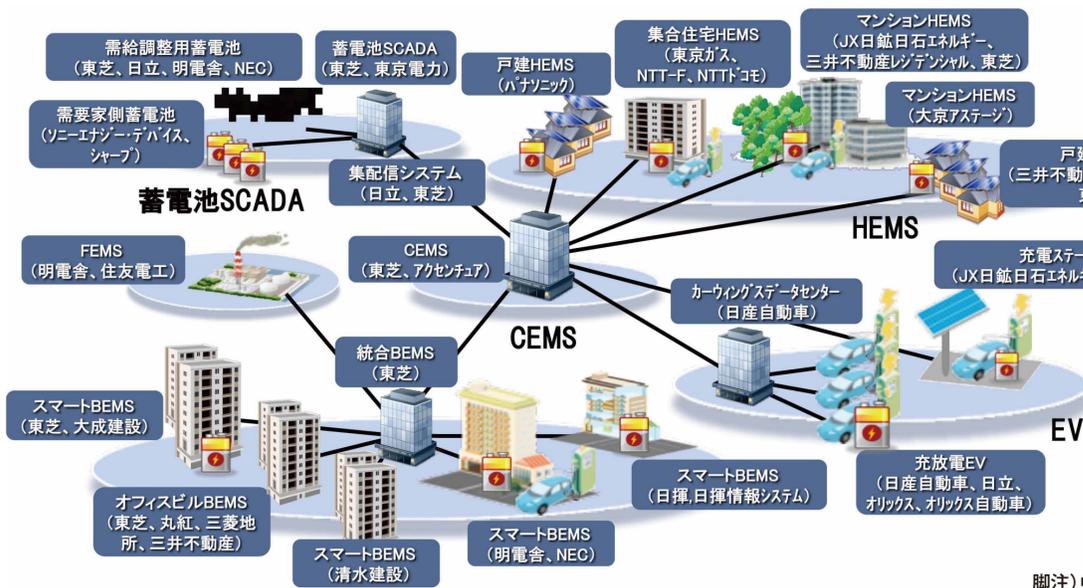
見えないところで、「新しい技術」が働いています!



バイオマス発電下水汚泥消化施設  
(北部下水道センター)



はじまる、水素の利活用



脚注) 中央図中・略称の補足

詳細は、各種文献等でお調べ下さい。

**CEMS**(Community Energy Management System)

地域におけるエネルギー管理システム

**HEMS**(Home Energy Management System)

家庭におけるエネルギー管理システム

**BEMS/FEMS**

(Building /Factory Energy Management System)

ビル・工場におけるエネルギー管理システム

**蓄電池SCADA**

(Supervisory Control And Data Acquisition)

蓄電池の統合制御システム

**EV**(Electric Vehicle)

電気自動車



太陽光発電

本市施設で、265箇所設置

2015年3月末時点



エネマネハウス2015

関東学院大学

「グリーンハット2030」

学生が考える、環境にやさしい家

撮影:吉村 昌也 氏

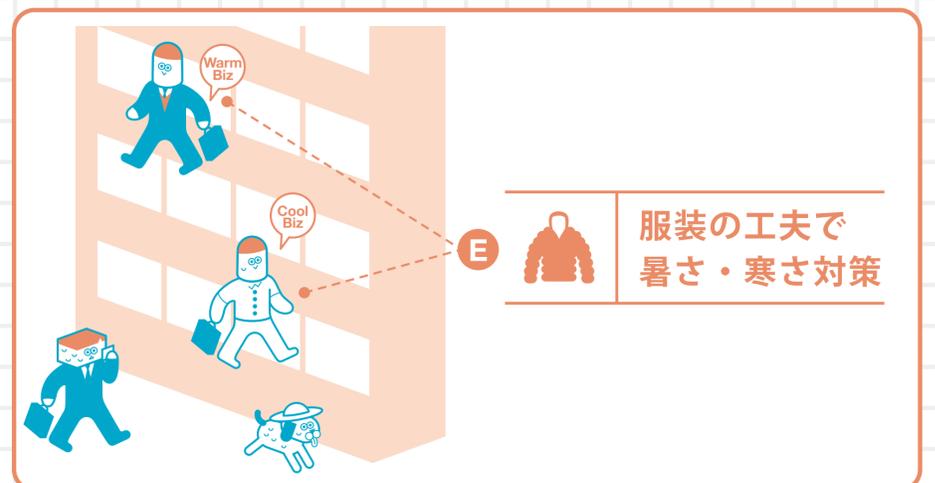
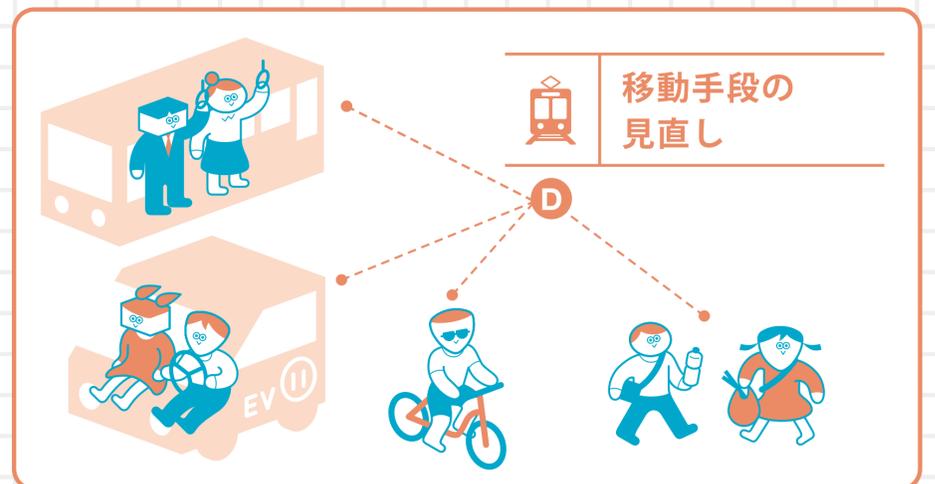
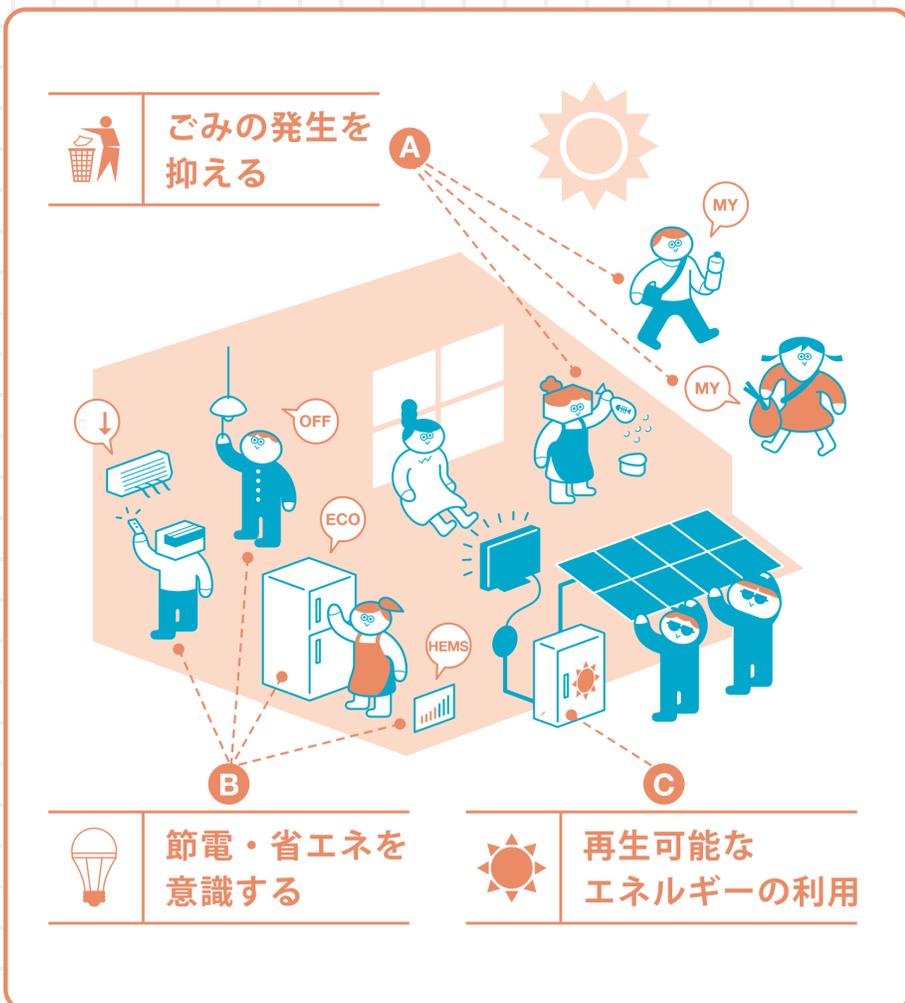
# 今、私たちに出来ることは何でしょうか？

## 探してみよう？ 身近で出来ること！

私たちが出来る  
**緩和**  
のアクション！

### 温暖化の緩和とは…

温暖化の進行を抑えるため、その原因となる温室効果ガスの排出を削減する取組を行う、「低炭素なライフスタイル」への転換が重要です。



お出かけすることも、家庭内のエネルギー消費をおさえる手段です。

積極的に、図書館などの  
公共施設を利用しましょう！



# 温暖化と共存する ライフスタイルとは？

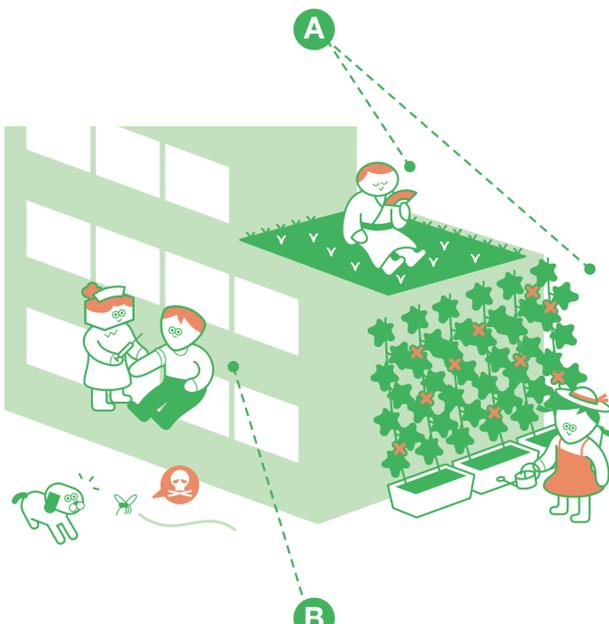
探してみよう？ 身近で出来ること！

私たちができる  
**適応**  
のアクション！

## 温暖化への適応とは…

温暖化が進むことは避けられません。地域や人が温暖化による影響に対処する取組を考え、実施する、「温暖化と共存するライフスタイル」への転換が重要です。

 壁面や屋上の緑化

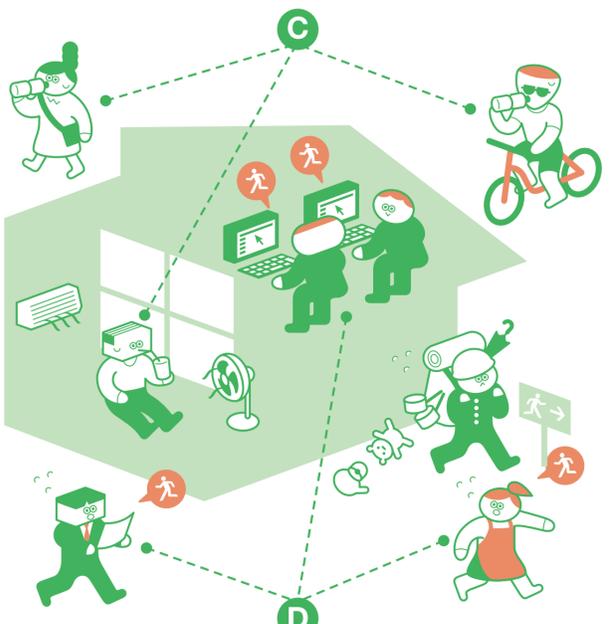


A: Greening of walls and roofs

B: Reducing the spread of infectious diseases

 感染症の流行を抑える

 こまめな水分補給

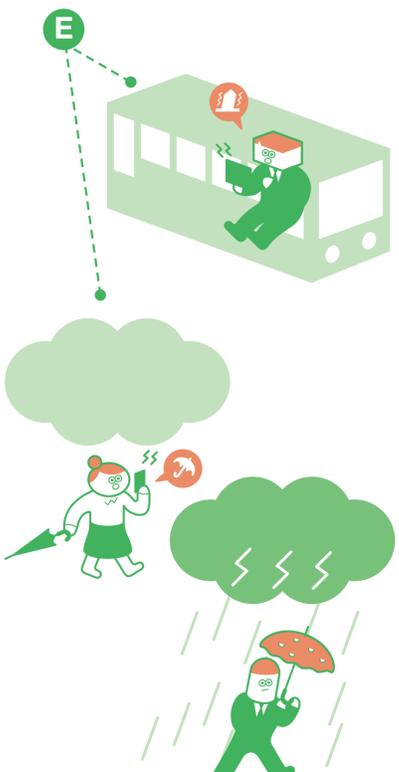


C: Frequent hydration

D: Utilization of hazard maps

 ハザードマップの活用

 メディアを活用した情報収集



E: Information collection using media